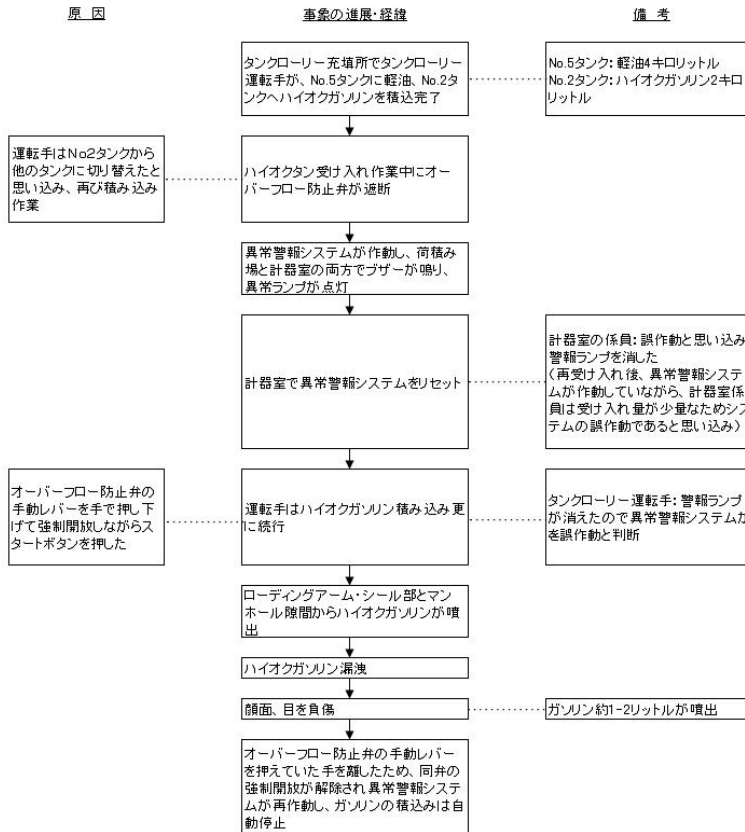




充填中のタンクローリーでガソリン漏洩

事象進展図

00113	充填中のタンクローリーでガソリン漏洩
発災年月日	1994年7月23日
装置	タンクローリー 充填所
運転状況	ハイオクタン受け入れ作業中
特徴	異常警報システムが作動したが、誤作動と思い積込みを続行したため過充填となりシール部から漏洩



再発防止策

- ・異常警報システム管理の徹底・現場確認をしなければリセット禁止、ページングなどでタンクローリー運転手と確認の励行。
- ・タンクローリー運転手の安全教育実施の強化、異常警報システム作動時の現場報告・連絡の再徹底、操作手順書の再教育の実施。
- ・通刺に入らない対策システム強化の検討。

安全専門家コメント

・両者(運転手、計器室係員)の勘違いが重なった事故である。
当該事例のように異常警報システムが作動した時には、必ず現状・現地確認を行い、適切な処置することが重要である。自動で閉止したオーバーフロー防止弁を現地で簡単に手動レバーで開放できるシステムになっているが、この場合何らかの歯止めがあっても良かった。
ローリー運転手には、元売契約運送会社の運転手、需要家や商社で契約した引き取り運転手、また、契約形態では年間専属契約や冬季繁忙期の期間契約など経験・知識に差があるので、異常警報など作動した場合は製油所や、油槽所側で現場確認対応する必要がある。運転手も積込基地が複数の基地になるので、基地においては他社と同等の設備の自動化を図る必要がある。

引き金事象発生の原因

オーバーフロー防止弁の手動レバーを押さえてNo.2タンクへハイオクガソリンの充填継続

事故の引き金事象

ハイオクガソリンの過充填

事故に関係した直接・間接要因

《人的要因》
・誤操作・不作為など
・作業確認不足・ミス
・うっかり・ぼんやり・疲労・ストレスなど
《情報要因》
・指示・伝達不足



充填中のタンクローリーでガソリン漏洩

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・川崎市消防局予防部保安課、危険物移動タンク貯蔵所ガソリン漏洩事故、川崎市コンビナート安全対策委員会資料、1995年

▶ 添付資料



[図1 タンクローリー運転手積込状況図](#) (180 KB)



[図2 機械式オーバーフロー防止弁の作動状況図](#) (245 KB)

▶ キーワード(>同義語)



弁 > バルブ



ローディングアーム



陸上出荷



貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備



遮断弁

▶ 関連情報